

# 自主事業

## I 地域交流活動の推進

### 本館

#### 1 エドはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、あるいは首都大学東京・JR東日本ジパング倶楽部といった外部機関との連携講座などを中心に合計153講座を開催した。

期 間 平成20年4月18日(金)～平成21年3月27日(金)  
 会 場 江戸東京博物館(ホール、会議室、学習室1・2)等  
 受講料 無料～10,000円(友の会、ボランティア 800円～8,000円)  
 受講者数 10,692人  
 講座数 152講座(うちJR東日本ジパング倶楽部連携講座36講座、首都大学東京連携講座4講座)

春期カルチャー 計50講座(うちジパング倶楽部連携講座18講座)

	講座名	開催日	講師	参加人数
特別展 ペリー & ハリス展 関連講座	① 展覧会の見どころ ー 黒船来航から遣米使節派遣までー	5月5日(月)	田中裕二(学芸員)	117
	② 二人の男 二人の策 ー ペリーの上陸部隊とハリスの台場視察ー	5月11日(日)	北村陽子 (日本鉄砲史学会理事・海 事史学会会員)	111
	③ 将軍謁見 ー カピタンの拝礼からハリスの謁見へー	5月18日(日)	片桐一男(青山学院大学名 誉教授)	115
	④ 再考・黒船来航と幕末日本 ー 予告情報・狂歌・白旗問題を中心にー	5月23日(金)	岩下哲典 (明海大学教授)	111
	⑤ 遣米使節賄方・加藤素毛が見た異国	5月28日(水)	落合則子(学芸員)	90
	⑥ ハリスが見た安政四年の江戸	5月30日(金)	鈴木章生 (目白大学准教授)	110
	⑦ “外交官”としてのハリス ー バンコク、香港、下田そして江戸ー	6月1日(日)	嶋村元宏(神奈川県立歴史 博物館主任学芸員)	101

	講座名	開催日	講師	参加人数
講座 人物列伝	①蛭川式胤－博物館の創始者－	5月8日(木)	米崎清実(学芸員)	65
	②宮武外骨 反骨のジャーナリスト、雑誌で闘う。	5月15日(木)	行吉正一(学芸員)	77
	③中島三郎助 －ペリー艦隊と最初に接触した日本人－	5月22日(木)	市川寛明(学芸員)	108
	④小栗上野介忠順－開明派の幕臣－	5月29日(木)	近松鴻二(学芸員)	109
	⑤タウンゼント・ハリス －初代駐日米国総領事－	6月5日(木)	田中裕二(学芸員)	100
連 続 講 座	江戸の絵本をみる ①菱川師宣の『月次のあそび』	4月18日(金)	小澤 弘(教授)	102
	江戸の絵本をみる ②西川祐信の『絵本常盤草』	5月9日(金)		102
	江戸の絵本をみる ③鈴木春信の『飴売土平伝 笠森阿仙附』	6月6日(金)		104
	えどはくの浮世絵を楽しむⅣ ①幕末明治の浮世絵 P a r t 1	5月16日(金)	小山周子(学芸員)	88
	えどはくの浮世絵を楽しむⅣ ②幕末明治の浮世絵 P a r t 2	6月20日(金)		82
	日本建築家列伝シリーズ〈特別編〉 ①丹下健三を語り合う	6月7日(土)	米山 勇(助教授)、 藤森照信(東京大学生産技術研究所教授)	79
	日本建築家列伝シリーズ〈特別編〉 ②F. L. ライトを語り合う	6月22日(日)	米山 勇(助教授)、 谷川正己(谷川正巳フランク・ロイド・ライト研究室主宰)	58
	大江戸教育事情－学びの社会と文化－ ①文字社会の成立と出版文化	6月11日(水)	石山秀和(講師)	93
	大江戸教育事情－学びの社会と文化－ ②庶民教育の普及と文字学習	7月9日(水)		87
	大江戸教育事情－学びの社会と文化－ ③江戸の教育社会と門人社会	8月6日(水)		75

	講座名	開催日	講師	参加人数
古文書講座	体験！古文書の楽しみ（初級編）①	6月13日(金)	田原 昇(講師)	34
	体験！古文書の楽しみ（初級編）②	6月27日(金)		32
	体験！古文書の楽しみ（初級編）③	7月4日(金)		34
	江戸の古文書を読む（中上級編）①	6月3日(火)	高山慶子(講師)	35
	江戸の古文書を読む（中上級編）②	6月10日(火)		33
	江戸の古文書を読む（中上級編）③	6月24日(火)		33
	江戸の古文書を読む（中上級編）④	7月1日(火)		31
	江戸の古文書を読む（中上級編）⑤	7月8日(火)		33
実演講座	段物浄瑠璃と新内節 上方相撲編	6月14日(土)	富士松松栄太夫(新内研究家・日本ペンクラブ会員・日本文藝家協会会員)	20
近代文学講座	詩と美術の交歓 —近代の詩誌・詩集をみる—	4月22日(火)	行吉正一(学芸員)	17

J R ジパン グ 倶 楽 部 連 携 講 座

	講座名	開催日	講師	参加 人員
J R ジ パ ン グ 倶 楽 部 連 携 講 座	特別展講座「ペリー&ハリス泰平の眠りを覚ました男たち」(午前クラス)	5月12日(月)	田中裕二(学芸員)	45
	特別展講座「ペリー&ハリス泰平の眠りを覚ました男たち」(午後クラス)			36
	隅田川の今昔(午前クラス)	5月26日(月)	小澤 弘(教授)	48
	隅田川の今昔(午後クラス)			41
	隅田川の渡し・橋・堀(午前クラス)	6月9日(月)	市川寛明(学芸員)	49
	隅田川の渡し・橋・堀(午後クラス)			38
	隅田川と深川獺師町(午前クラス)	6月23日(月)	高山慶子(講師)	44
	隅田川と深川獺師町(午後クラス)			41
	隅田川の御蔵と御船番所(午前クラス)	7月7日(月)	田原 昇(講師)	47
	隅田川の御蔵と御船番所(午後クラス)			36
	隅田川と江戸文人(午前クラス)	7月14日(月)	石山秀和(講師)	39
	隅田川と江戸文人(午後クラス)			35
	地図に見る隅田川(午前クラス)	8月4日(月)	近松鴻二(学芸員)	39
	地図に見る隅田川(午後クラス)			31
	隅田川と近代建築(午前クラス)	8月18日(月)	米山 勇(助教授)	47
	隅田川と近代建築(午後クラス)			33
	隅田川と近代文学(午前クラス)	9月1日(月)	行吉正一(学芸員)	41
	隅田川と近代文学(午後クラス)			34

夏期カルチャー 計 14 講座

	講座名	開催日	講師	参加人数
特別展 「書の名宝展」 北京故宮 関連講座	展覧会のみどころ講座Ⅰ －王羲之「蘭亭序」の魅力にせまる－	7月31日(木)	仲川恭司 (専修大学教授)	128
	展覧会のみどころ講座Ⅱ －宋四大家から明清時代の個性派書家－	8月28日(木)	仲川恭司 (専修大学教授)	114
企画展 「発掘された日本列島2008展」 関連講座	PARTⅠ 石見銀山遺跡世界遺産登録1周年記念 シンポジウム・講演会 ①シンポジウム「世界遺産 石見銀山遺跡とその文化的景観について」	7月19日(土)	脇田晴子(城西国際大学客員教授)、 村井章介 (東京大学客員教授)、 大國晴雄 (大田市教育部長)、 中村俊郎(石見銀山資料館理事 長・中村ブレイス社長)、 毛利和男 (NHK 解説委員)	350
	PARTⅠ 石見銀山遺跡世界遺産登録1周年記念 シンポジウム・講演会 ②石見銀山遺跡の調査から－姿を現した 鉦山町－	8月2日(土)	守岡正司 (島根県文化財課世界遺産 室専門調査員)	107
	PARTⅡ 高松塚古墳・列島展みどころ講座 ①列島展の歴史とみどころ紹介	8月9日(土)	坪井清足 (元興寺文化財研究所)	62
	PARTⅡ 高松塚古墳・列島展みどころ講座 ②高松塚古墳石室解体にむけての発掘調査	8月23日(土)	松村恵司 (奈良文化財研究所)	71
ワークショップ 「えどかる」	鳴らしてみよう！水道管尺八	8月1日(金)	田嶋謙一(尺八奏者)	14
	えどはくの浮世絵であそぼう！	8月7日(水)	小澤 弘(教授)、 小山周子(学芸員)	23
	和綴じ本を作ってみよう！	8月27日(水)	楯石もも子(司書)	32
連続講座	江戸の絵本をみるⅡ ①喜多川歌麿の『青楼年中行事』	7月25日(金)	小澤 弘(教授)	123
	江戸の絵本をみるⅡ ②鳥居清長の『絵本物見岡』	8月22日(金)	小澤 弘(教授)	109

	講座名	開催日	講師	参加人数
近代文学 講座	夏目漱石と美術－漱石はいかに美術と関わったか－	9月4日(木)	行吉正一(学芸員)	47
実演講座	体感！三味線の魅力	7月24日(木)	白田路明 (津軽三味線奏者)	43
	段物浄瑠璃と新内節 お駒昔八丈編	9月6日(土)	富士松松栄太夫(新内研究家・日本ペンクラブ・文藝家協会会員)	36

秋期カルチャー 計 56 講座 (うちジパング倶楽部連携講座 18 講座)

	講座名	開催日	講師	参加人数
浮世絵名品展「 特別展 ポストン美術館 関連講座	①ボストン美術館の浮世絵 ー版画・版本そして肉筆ー	10月7日(火)	セーラ・E・トンプソン(ボ ストン美術館アジア・オセアニ ア・アフリカ美術部日本美術課 浮世絵版画室室長)	125
	②浮世絵の魅力とボストン美術館のコレ クション	11月8日(土)	永田生慈 (美術評論家・葛飾北斎美 術館館長)	173
江戸と乗り物展「 特別展 珠玉の輿 関連講座	①徳川将軍とその生母	12月20日(土)	望月良親 (徳川記念財団研究員)	208
	②婚礼調度と女乗物	1月8日(木)	小池富雄(徳川美術館企画 情報部部长)	108
	③展覧会のみどころ ー館蔵女乗物の視点ー	1月15日(木)	齋藤慎一(学芸員)	98
	④女乗物を科学する	1月22日(木)	日高真吾(国立民族学博物 館文化資源研究センター 准教授)	96
企画展 浅草今昔展「 I 関連講座	①近代の盛り場浅草を収蔵資料から見る ～喜多川コレクションの魅力～	10月1日(水)	行吉正一(学芸員)	78
	②近世の文人と浅草寺周辺の句碑	10月15日(水)	北原進 (立正大学名誉教授)	75
	③地絵図でみる浅草の歴史	11月5日(水)	近松鴻二(学芸員)	116
	④浅草と文学 ～明治・大正・昭和を読む～	11月19日(水)	湯川説子(学芸員)	85
	⑤隅田川の橋と渡し	12月3日(水)	市川寛明(学芸員)	146
連 続 講 座	江戸の絵本をみるⅢ①楯形蕙斎(北尾政 美)の『江都名所図会』	10月3日(金)	小澤 弘(教授)	104
	江戸の絵本をみるⅢ ②葛飾北斎の『画本彩色通』	10月24日(金)		89
	江戸の絵本をみるⅢ ③歌川広重の『狂歌江戸名所図会』	12月12日(金)		91
	えどはくの浮世絵を楽しむⅥ ①盛り場と浅草	10月17日(金)	小山周子(学芸員)	75
	えどはくの浮世絵を楽しむⅥ ②盛り場と両国	12月19日(金)		69

	講座名	開催日	講師	参加人数
	大江戸教育事情Ⅱ ①江戸幕府の「学校」思想	9月24日(水)	石山秀和(講師)	82
	大江戸教育事情Ⅱ ②江戸の手習師匠	10月22日(水)		77
	大江戸教育事情Ⅱ ③江戸の「往来物」と学習社会	12月10日(水)		73
	日本建築家列伝<特別編>Ⅱ ①J.コンドルと明治の建築家たちを語り合う	9月25日(木)	米山 勇(助教授)、 鈴木博之 (東京大学教授)	51
	日本建築家列伝<特別編>Ⅱ ②佐藤功一と早稲田の建築家たちを語り合う	10月23日(木)	米山 勇(助教授)、 中川武(早稲田大学教授)	48
シリーズ最先端城館研究	①落城・破城・廃城 城の終わり方	10月19日(日)	伊藤正義(鶴見大学教授)、 広瀬季一郎(つくば市教育委員会)	116
	②戦国時代前半の城館 -杉山城を中心に-	11月1日(土)	村上伸司(嵐山町役場)、 竹井英文 (一橋大学大学院)	59
	③発掘された石垣	11月15日(土)	宮田 毅(太田市役所)、 石川安司(ときがわ町教育委員会)	74
	④江戸城を築く -材木と石材の調達-	11月29日(土)	田原 昇(講師)、 金子浩之 (伊東市教育委員会)	133
クプロ文化 トロジエ発信 講座	江戸東京の茶の湯	10月8日(水)	熊倉功夫 (林原美術館館長)	71
近代文学 講座	漱石文学散歩『行人』を歩く①(講座)	11月7日(金)	行吉正一(学芸員)、 田中実穂(東京都現代美術館学芸員)	27
	漱石文学散歩『行人』を歩く②(散歩)	11月14日(金)		25
実演講座	段物浄瑠璃と新内節 梅川忠兵衛編	12月6日(土)	富士松松栄太夫(新内研究家・日本ペンクラブ・文藝家協会会員)	30
古文書講座	初めて読む古文書(初級編)①	11月6日(木)	高山慶子(講師)	37
	初めて読む古文書(初級編)②	11月13日(木)		35
	初めて読む古文書(初級編)③	11月20日(木)		35
	一步一步の古文書講読(中級編)①	11月27日(木)	近松鴻二(学芸員)	30
	一步一步の古文書講読(中級編)②	12月4日(木)		29
	一步一步の古文書講読(中級編)③	12月11日(木)		31

	講座名	開催日	講師	参加人数
たてもの園セミナー	建築家なしの名建築 ①銭湯建築大研究	11月29日(土)	町田忍(庶民文化研究家)、 米山 勇(助教授)	109
	建築家なしの名建築 ②擬洋風建築の世界		初田 亨 (工学院大学教授)	127
	建築家なしの名建築 ③魅惑の看板建築		藤森照信 (東京大学教授)	134

J R ジパンング倶楽部連携講座

	講座名	開催日	講師	参加 人員
J R ジ パ ン グ 倶 楽 部 連 携 講 座	企画展講座「浅草今昔展」のみどころ (午前クラス)	11月11日(火)	沓沢博行(学芸員)	35
	企画展講座「浅草今昔展」のみどころ (午後クラス)			21
	浅草の魅力(午前クラス)	11月18日(火)	小澤 弘(教授)	33
	浅草の魅力(午前クラス)			23
	絵図・地図に見る浅草文人(午前クラス)	12月2日(火)	近松鴻二(学芸員)	36
	絵図・地図に見る浅草文人(午後クラス)			23
	金石文に見る江戸文人(午前クラス)	12月16日(火)	石山秀和(講師)	32
	金石文に見る江戸文人(午後クラス)			22
	江戸の拡大と浅草の町(午前クラス)	1月13日(火)	高山慶子(学芸員)	35
	江戸の拡大と浅草の町(午後クラス)			25
	浅草寺の境内と興行(午前クラス)	1月27日(火)	市川寛明(学芸員)	36
	浅草寺の境内と興行(午後クラス)			25
	浅草寺の歳時記～浅草寺とその周辺～ (午前クラス)	2月10日(火)	田原 昇(講師)	35
	浅草寺の歳時記～浅草寺とその周辺～ (午後クラス)			25
	近代の盛り場浅草～喜多川周之コレク ション～(午前クラス)	2月24日(火)	行吉正一(学芸員)	38
	近代の盛り場浅草～喜多川周之コレク ション～(午後クラス)			23
	浅草と文学～明治・大正・昭和を読む～ (午前クラス)	3月3日(火)	湯川説子(学芸員)	35
	浅草と文学～明治・大正・昭和を読む～ (午後クラス)			18

新春期カルチャー 計 33 講座（うち首都大学連携講座 4 講座）

		講座名	開催日	講師	参加人数
浅草今昔講座 PART II	メイン講座	①浅草寺の縁起絵巻と絵馬	1月21日(水)	小澤 弘(教授)	163
		②金石文にみる浅草 －歌舞伎、戯作、書家－	2月4日(水)	石山秀和(講師)	144
		③浅草の風物詩－浅草寺とその界限－	2月18日(水)	田原 昇(講師)	177
		④時の鐘－上野と浅草－	3月4日(水)	浦井祥子 (日本女子大学講師)	179
		⑤江戸のなかの浅草 －門前町屋と両支配の町－	3月18日(水)	高山慶子(講師)	165
特別展 関連講座	「薩摩焼展」	島津の雅びと薩摩焼	3月7日(土)	原口 泉 (鹿児島大学法学部教授・鹿児島大学生涯学習教育センター長)	173
連続講座	江戸の絵本をみるⅣ ①歌川国貞の『修紫田舎源氏』	1月23日(金)	小澤 弘(教授)	121	
	江戸の絵本をみるⅣ ②長谷川雪旦の『江戸名所図会』	2月27日(金)		113	
	大江戸教育事情Ⅲ ①江戸の年中行事と寺子屋	1月14日(水)	石山秀和(講師)	90	
	大江戸教育事情Ⅲ②稽古と学び	2月25日(水)		84	
	大江戸教育事情Ⅲ③笑いと学び	3月25日(水)		70	
	日本建築家列伝シリーズⅢ ①前川國男	2月5日(木)	米山 勇(助教授)	41	
	日本建築家列伝シリーズⅢ ②佐藤武夫	3月19日(木)		38	
近代文学講座	詩の東京 中野重治、プロレタリア詩人たちのうたった東京	2月12日(木)	行吉正一(学芸員)	31	
古文書講座	声に出して読む古文書(初級編)①	2月19日(木)	市川寛明(学芸員)	46	
	声に出して読む古文書(初級編)②	3月5日(木)		42	
	声に出して読む古文書(初級編)③	3月12日(木)		40	
	古文書解説の壁に挑む(中級編)①	2月6日(金)	近松鴻二(学芸員)	32	
	古文書解説の壁に挑む(中級編)②	2月20日(金)		31	
	古文書解説の壁に挑む(中級編)③	3月6日(金)		33	

	講座名	開催日	講師	参加人数
実演講座	江戸音曲・歴史と名所めぐり	2月28日(土)	富士松栄太夫(新内研究家・日本ペンクラブ・文藝家協会会員)	86
特別講座	観光都市江戸の魅力	2月14日(土)	竹内 誠(館長)	154
展覧会みどころ講座	「えどはくでおさらい!江戸時代」	2月25日(水)	阿部由紀洋(学芸員)、丸山はるか(学芸員)	57
アンコール講座	大江戸を歩く -200年前の「熙代勝覧」絵巻	2月12日(木)	小澤 弘(教授)	92
	江戸時代の暦法	2月19日(木)	近松鴻二(学芸員)	75
	手習師匠列伝	2月27日(金)	石山秀和(講師)	41
	旗本御家人の内職	3月19日(木)	田原 昇(講師)	95
	江戸の町名主	3月26日(木)	高山慶子(講師)	99
	両国橋物語	3月27日(金)	市川寛明(学芸員)	70

首都大学オープンユニバーシティ連携講座

	講座名	開催日	講師	参加人員
首都大学連携講座	多摩の絵画	1月19日(月)	小澤 弘(教授)	13
	多摩の近代文学	1月26日(月)	行吉正一(学芸員)	13
	多摩の文人	2月2日(月)	石山秀和(講師)	13
	多摩の豪農	2月9日(月)	米崎清実(学芸員)	13

## 2 江戸文化歴史検定

江戸の文化と歴史をひろく普及するため、(株)小学館、(株)小学館プロダクションとの共同で江戸文化歴史検定を実施した。

### (1) プレス発表・江戸文化歴史検定特別企画「桂歌丸落語会」

日 時 平成20年7月2日(水)  
会 場 江戸東京博物館 学習室2  
参加プレス 11社  
出 演 桂歌丸(落語家)、江戸東京博物館館長・竹内誠、他  
会 場 江戸東京博物館1階大ホール  
参加人数 354人

### (2) 第3回 江戸文化歴史検定

日 時 平成20年11月3日(月・祝)  
場 所 明治大学駿河台校舎・専修大学神田校舎・共立女子大神田一ツ橋キャンパス  
受験料 3級 4,200円 2級 5,250円 1級 6,300円  
受験者数 6,404人(合格者2,555人)  
3級 2,115人(合格者1,429人、合格率67.6%)  
2級 3,428人(合格者1,085人、合格率31.7%)  
1級 861人(合格者41人、合格率4.8%)

## 3 伝統的工芸品支援事業「第4回 東京の伝統的工芸品チャレンジ大賞」

職人同士やデザイナーなどが連携し、伝統的なものづくりに、新しいデザインや機能を取り入れて開発した新製品を募集し、応募製品を江戸東京博物館で展示するとともに、応募作品のなかから大賞(都知事賞)1名、優秀賞5名、奨励賞10名を選定し、販売促進を支援する事業。

主 催 東京都中小企業振興公社・財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館  
展示会場 東京都江戸東京博物館 会議室  
展示期間 平成20年11月12日(水)～19日(水)、11月12日(水)商談会、  
11月17日(月)専門審査会、11月20日(木)表彰式  
来場者数 5,256人

#### 4 伝統芸能フォーラム公演

伝統芸術の発展と継承を目指し、多くの都民が伝統芸能に親しむ機会を提供するため、落語会と落語とトークの会を実施した。

##### (1) えどはく夏の落語会

期 日 平成20年8月17日(日)  
会 場 江戸東京博物館 1階ホール  
主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館  
内 容 出 演 : 柳家小ぞう、三遊亭金翔、三遊亭金時、柳家権太郎、  
三遊亭金八、ダーク広和、柳家さん喬  
入 場 料 各日3,000円  
参加者数 131名

##### (2) 江戸東京博物館開館15周年記念 トーク&ライブ 江戸の粋 古典落語の世界

期 日 平成21年2月24日(火)  
会 場 江戸東京博物館 1階ホール  
主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館  
内 容  
第一部 館長講演 「遠山の金さんと寄席」  
天保の改革により、歌舞伎と同様、弾圧を受けた寄席興行の存続に努めた町奉行遠山景元の奮闘ぶりを紹介。  
第二部 「お店(たな)噺(ばなし)・長屋噺と江戸のくらし」  
(1) トーク 三遊亭金馬・竹内誠  
(2) 落語 三遊亭金時  
中入り  
第三部 「江戸町人のたのしみ 江戸グルメと旅」  
(1) トーク 三遊亭金時・竹内誠  
(2) 落語 三遊亭金馬  
入 場 料 各日2,500円  
参加者数 284名

#### 5 国際シンポジウム

「都市の博物館」の事業として、地域との交流、展覧会協力などを通じた国内の交流の他、アジア・欧米の博物館との連携など国際交流を推進する。平成20年度は、中国・瀋陽故宮博物院においてシンポジウムを開催し、「博物館と社会発展」のテーマで意見交換を行った。

期 間 平成20年9月9日～12日  
参加者 竹内誠(館長)、行吉正一(学芸員)

## II 江戸東京の歴史に関する資料の展示等

「3T戦略」(Target:対象入館者, Timeliness:時宜, Top of sales point:目玉資料)のもとで、バラエティー豊かなラインナップの特別展を5本開催し、江戸博の独自性を出すことで展示内容の来館者満足度を高めた。運営面では、オンラインチケットの販売拡充や協力金方式の協力金収入率を上げるなど、コスト意識を踏まえて事業を推進した。平成20年度の特別展入館者数は、延べ233日間の会期に計608,144人の観覧者を迎えることができた。

### 1 特別展 「天璋院篤姫」

期 間	平成20年4月1日(火)～4月6日(日) 6日間
会 場	江戸東京博物館 企画展示室
主 催	財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、NHK、NHKプロモーション
協 賛	ハウス食品、日本写真印刷株式会社
特別協力	財団法人徳川記念財団 尚古集成館
内 容	篤姫は、薩摩藩主島津家の一門に生まれ、21歳で徳川13代将軍家定に嫁ぎ、江戸城無血開城に大きな役割を果たした女性。この展覧会は2008年NHK大河ドラマ「篤姫」と連動するもので、篤姫と彼女を取り巻く人々ゆかりの品々や、江戸城大奥の調度、幕末の騒乱を伝える歴史史料など約200件を公開。
観 覧 料	一般1,200円 大学・専門学校生960円 高校生・65歳以上600円
入場者数	31,756人 (1日平均5,293人) 平成20年度分のみ

### 2 第1回特別展 「ペリー&ハリス～太平の眠りを覚ました男たち～」

期 間	平成20年4月26日(土)～6月22日(日) 延べ52日間
会 場	江戸東京博物館 企画展示室
主 催	財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社
後 援	外務省、文化庁、アメリカ大使館
協 力	全日本空輸、日本貨物航空
内 容	2008年(平成20)は、1858年(安政5)に結ばれた日米修好通商条約から150年目にあたる。本展覧会は、提督ペリーと初代駐日米領事館ハリスに焦点をあて、彼ら二人の遺品やペリー艦隊の随行者画家ハイネが描いた日本の情景、条約の原本、幕末の贈答品など日本における初公開作品を含む、日米両国所蔵品約250点で構成した。
観 覧 料	一般1,300円 大学・専門学校生1,040円 小中高生・65歳以上650円
入場者数	59,367人 (1日平均 1,142人)
巡 回	名古屋ボストン美術館(平成20年10月18日～12月21日)
関連事業	(1) 記念講演会「太平の眠りを覚ました男たち」 日 時 平成20年4月27日(日) 14:00-15:30 講 師 井沢元彦(作家) 会 場 東京都江戸東京博物館 ホール 参加者 312人

(2) 記念講演会「ペリーとハリス 『篤姫』の時代」

日 時 平成20年6月15日(日) 14:00-15:30

講 師 大石 学(東京大学教授)

会 場 東京都江戸東京博物館 会議室

参加者 135人

### 3 第2回特別展 「北京故宮～書の名宝展～」

期 間 平成20年7月15日(火)～9月15日(月・祝) 延べ55日間

会 場 江戸東京博物館 企画展示室

主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、毎日新聞社、NHK  
NHKプロモーション

後 援 外務省、文化庁、中国大使館、全日本書道連盟

特別協力 故宮博物院、全日本空輸

協 力 内田洋行、日本通運

協 賛 JR東日本、NTTデータ、NTTドコモ、凸版印刷、トヨタ自動車、  
DOWAホールディングス、藤田観光、森ビル、王子製紙、三井物産

内 容 本展は、書の世界で古今、書聖としてもっとも尊ばれてきた王羲之の最高傑作といわれる「蘭亭序」(八柱第三本)を含む国外不出の国宝の書13点と、中国美術の粋を収蔵する北京故宮博物院から、中国書法史を彩る唐時代より清時代にいたる名品、計65件を展覧した。日中平和友好条約が締結されて30年を迎えた平成20年、文字文化の神髄に触れる絶好の機会となった。

観 覧 料 一般1,300円 大学・専門学校生1,040円 高校生・65歳以上650円

入場者数 163,780人 (1日平均2,978人)

### 4 第3回特別展 「ボストン美術館～浮世絵名品展～」

期 間 平成20年10月7日(火)～11月30日(日) 延べ48日間

会 場 江戸東京博物館 企画展示室

主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、ボストン美術館、  
日本経済新聞社、テレビ東京

後 援 米国大使館

協 賛 NEC、NTTドコモ、大日本印刷、三菱商事

協 力 日本航空

内 容 アメリカのボストン美術館には、5万点といわれる浮世絵版画と、多くの版本・肉筆画が収蔵されており、その質の高さと数量は世界一の規模と評されてきたが、近年までそれらが公開される機会はなかった。本展では、その膨大な収蔵品の中から第一級の作品のみを厳選し、大多数が日本初公開となる豪華な作品群で、初期から幕末までの華麗なる浮世絵史を概観した。

観 覧 料 一般1,300円 大学・専門学校生1,040円 小中高生・65歳以上650円

入場者数 183,021人 (1日平均3,813人)

関連事業 「木版画摺師による実演イベント」

日 時 平成20年10月25日(土) 10:30/14:00の2回

講 師 アダチ伝統木版画技術保存団体

会 場 東京都江戸東京博物館 学習室1、2

参加者 10組20人、11組22人 計21組42人

5 第4回特別展「珠玉の輿～江戸と乗物」

期 間 平成20年12月16日(火)～平成21年2月1日(日) 延べ40日間

会 場 江戸東京博物館 企画展示室

主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社

協 力 日本航空

内 容 江戸時代、身分の高い女性が使用した「女乗物」や「輿」は時代の粋を集めてつくられ、まさに「動く御殿」とも呼ぶべき豪華なものであった。本展覧会ではそうした女乗物を中心とした江戸時代の貴重な乗物を集め、「乗物」を通じて、江戸という時代の一断面を浮き彫りにした。また、2008年7月にアメリカで確認され話題を呼んだ、天璋院篤姫が婚礼時に使用した乗物も初公開した。

観 覧 料 一般1,200円 大学・専門学校生960円 小中高生・65歳以上600円

入場者数 144,471人 (1日平均3,612人)

関連事業 記念講演会「珠玉の輿 江戸と乗物」

日 時 平成21年1月17日(土) 15:00-17:00

講 師 草野満代(フリーアナウンサー)、竹内 誠(館長)、  
齋藤慎一(学芸員)

会 場 東京都江戸東京博物館 ホール

参加者 414人

6 第5回特別展 「薩摩焼～パリと篤姫を魅了した伝統の美～」

期 間 平成21年2月14日(土)～3月22日(日) 延べ32日間

会 場 江戸東京博物館 企画展示室

主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、薩摩焼パリ伝統美展実行委員会、TBS

後 援 読売新聞東京本社、TBSラジオ、在日フランス大使館

内 容 薩摩焼は1867年(慶応3)の第2回パリ万国博覧会に出品され、ヨーロッパで高い評価を得た。パリ万博出品140年目にあたる2007年、これを記念した展覧会「薩摩焼パリ伝統美展」が、世界最高峰の陶磁器専門美術館として知られるフランス国立陶磁器美術館(セーブル美術館)で開かれ、好評を博した。本展覧会は同美術館で出品された作品を中心に、400年の歴史を誇る薩摩焼の名品約200点を紹介した。

観 覧 料 一般1,000円 大学・専門学校生800円 小中高生・65歳以上500円

入場者数 25,749人 (1日平均805人)